



埼玉医科大学 総合医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL CENTER NEWS

基本理念

安全で質の高い医療を提供し、
地域から信頼される医療機関を目指します。

NO. 74

2026
March



CONTENTS

ご紹介

緩和医療科..... 教授 儀賀 理暁 P-2

トピックス

- 本年の医療安全週間について～世界患者安全の日によせて～
..... 医療安全対策室長 滝沢 牧子 P-3
- 埼玉県防災航空隊による場外離着陸場夜間離着陸訓練について
..... 総務課 P-5
- 病院機能評価のご報告..... 病院長 別宮 好文 P-6

連載

RT JOURNAL (オルソパントモグラフィ (OPG) について)
..... 中央放射線部 P-7

お知らせ

外来受診について/面会者へのお願い..... P-8

緩和医療科

教授 儀賀理暁

* 「助けて」と言えますか？

健康診断の結果に要精密という赤い文字を見つけたとき、外来のベンチでじっと待っているとき、いくつも受けた検査の結果を聞いたとき、家族のため子どものため自分のためにと決心した治療の苦しさを一人で耐え忍んでいるとき、特別疲れても大変でもないのに無理せず休めばと同僚に言われたとき、影は消えたと告げられても病の足音が耳元から離れないとき、経過が思わしくないとき、今日一日の持つ意味が少しずつ重みを増していると感じたとき、あるいは、目の前で病と闘うご家族の役に立てない自分が悔しくて悲しくて情けないとき、目を閉じるたびに風になった大切な人への想いが募りどうにもならないとき……。

「助けて」と言えますか？

* “あなた”の専門家

緩和ケアは病の種類や進み具合にかかわらず、あるいは病があろうがなかろうが、ご本人とご家族のさまざまな苦悩を和らげ、治癒の過程もいのちの限界も丁寧に支えて参ります。痛み、息切れ、吐き気、しびれ、むくみ、不眠、不安、抑うつ、混乱などの症状を和らげることは大切な手段ですが、目的ではありません。大切にしているのは、様々な理由で私が“わたし”でいられなくなってゆくことの恐怖に苛まれているあなたが、それでおなご自信をもって歩めるようになること。私た



TV アナウンサーとともに小児病棟にて

ち緩和ケアチームは、腸でも肺でも腎臓や肝臓や子宮や乳腺でもなく、“あなた”の専門家としてともに歩める存在でありたいと願っています。

* 私たち

管理栄養士、公認心理師、社会福祉士、理学・作業・言語療法士、看護師、薬剤師、医師といった様々な職種の間人が、それぞれの専門性を生かしながらもそれにとらわれることなく、あなたと一緒に悩み考え歩むことを心がけています。



「人工呼吸器のついた方に音楽の贈り物」

また、“いのち”や“わたし”について、県内外の小・中・高等学校や大学にて明日を担う児童、生徒、学生さんたちとともに考えることにも力を注いでいます。

* ご連絡お待ちしております

下記 URL をご参照の上、埼玉医科大学総合医療センター外科外来（緩和ケア外来）049-228-3756 にお問い合わせ下さい。

なお、当センターには緩和ケア病棟や病床はございませんが、それを補うべく地域の医療・教育機関との顔の見える連携を心がけております。

<https://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/01consultation/departments/dep42pal/>



* 私たちはここに

初助けを求めることも勇気がいるでしょう。ためらう気持ちもあるでしょう。しかし、各科の先生方とともに頑張っておられる病気への治療やケアと同じように、（もしかしたら悲鳴かも知れない）ご自身の声なき声にも耳を傾けてみませんか。私たちはここにいます。

今年の医療安全週間について～世界患者安全の日によせて～

医療安全対策室長 滝沢牧子

当院では、安全で質の高い医療を提供し、地域から信頼される医療機関を目指しています。この理念の実現のために、医療安全対策室では、患者さんからは直接見えないバックヤードで日々の業務を行っています。

『世界患者安全の日』

WHO 世界保健機関は2019年に「世界患者安全の日 (World Patient Safety Day)」を9月17日に決めました。これは、患者安全の重要性に関する認識を向上させ、国際的な連携・行動を促進して、医療リスクを軽減させることを目的に、加盟国で連携して活動していくキャンペーンで、オレンジ色がテーマカラーになっています。日本では「医療安全」というのが一般的ですが、世界ではPatient Safety 直訳すると「患者安全」という用語がほぼ同じ意味で使用されています。

世界患者安全の日のテーマは毎年変わりますが、2025年は「すべての新生児と子供に安全なケアを」というテーマが掲げられました。埼玉医科大学では3病院が共同して世界患者安全の日に賛同した取り組みを行い、厚生労働省のHPにも掲載されています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_60335.html



『医療安全週間』

当院では、毎年11月下旬に医療安全週間を開催してきましたが、2年前から、「世界患者安全の日」である9月17日の前後に開催しています。医療安全週間では、医療安全の院内の活動を患者さんやご家族の皆様にご紹介いただくため、職員が作成した医療安全のポスターを掲示したり、標語を掲示したりしてきました。年に1回、患者さんを中心とした安全で質の高い医療を提供する、という目標、医療安全の大切さをあらためて

思い起こし、様々な形で表現して、患者さんやご家族と共有する機会としています。

今年は、2025年の世界患者安全の日のテーマに合わせて、小児科と新生児科の取り組みをポスターでご紹介いたしました。当院は、総合周産期母子医療センター、高度救命救急センターなどと連携して、重症度の高い小児・新生児の患者さんの診療を多く行っています。子供は検査の時にもじっとしてられないため、「鎮静」を行って検査を行うことがありますが、この鎮静には呼吸状態やアレルギーなどのリスクが伴います。できるかぎり安全に鎮静を行うための取り組みをご紹介します。(ポスター①) また、新生児集中治療室(NICU)では自分で名乗ることができない患者さんに、授乳をしたり薬を投与したりするとき、間違いを防止するために、ご家族と一緒に確

毎年9月17日は世界患者安全の日です

2025年度テーマ
“Safe care for every newborn and every child”
「すべての新生児とこどもに安全なケアを」

埼玉医科大学総合医療センター小児科での取り組みの一部をご紹介します

安全安心な鎮静検査を行います。

- 例えばMRIやCT、脳波検査、傷の処置では動かずにいる必要があります。小児科ではこのようなときに薬を用いて鎮静します。
- しかし鎮静には**リスク**が伴います。
 - 舌根沈下による気道閉塞・呼吸抑制
 - 嘔気・嘔吐
 - アレルギー反応 など
- 注射薬で鎮静するときは小児科医が付き添い、目で見て本人の状態を確認しています。

鎮静前経口摂取制限の協力をお願いします

2-4-6ルール	
☑ クリアウォーター(水・お茶)	2時間前まで
☑ 母乳	4時間前まで
☑ 人工ミルク、食事	6時間前まで

- リスクを回避するために準備し、適切にモニタリングします。
(注：鎮静薬投与終了後も大事です)
- リスクを正しく理解し、適切に対応できるようにスタッフの教育を行っています。

現在進行中の対策
 当院小児科における鎮静方法の再考
 鎮静に関する学習資料の作成とトレーニング
 デクスメトミジンの使用拡大の検討
 薬剤に頼らない鎮静の検討

ポスター①

認する取り組みについて、ご家族からの意見をいただきながら一緒に進めていることをご紹介します。(ポスター②)

9月17日は「世界患者安全の日」

テーマ 'Safe care for every newborn and every child'
スローガン 'Patient safety from the start!'

「すべてのあかちゃんとこどもに安全なケアを！」
意思表示ができないあかちゃんに「安全」を！
～ご家族と医療スタッフの協力体制を育む～

埼玉医科大学総合医療センターNICU/GCUでは
9月を患者安全強化月間として以下の取り組みを行なっています。

①あかちゃんの「安全」の確認をご家族と共に行います

1. 授乳の際に、**名前、母乳やミルク**をご家族とともに確認します。
2. 薬を投与する際に、**名前、薬**をご家族とともに確認します。
3. 私たちは以下のような災害対策を行なっています。**ご家族も面会時に確認をお願いします。** 気になることがあればスタッフまで。
 - ・ 装着が可能な赤ちゃんにはIDバンドを装着しています
 - ・ 保育器やコット、呼吸器などのストッパーを対角止めにしています
 - ・ あかちゃんの頭の上モニターなど、落下すると危険なものがないようにしています

②ご意見を募集します。
ご家族やスタッフのみなさん。あかちゃんの安全のために大事だと思うこと、気になっていること、こんな取り組みをしたらどうかという提案なんでも良いので意見をお寄せください。

③病棟をテーマカラー「オレンジ」にします。
ご家族もよければ「オレンジ」を身につけて面会にきてください。

ポスター②



また、院内医療安全の各部署の担当者であるセーフティマネージャー達は5つのワーキンググループ(WG)に分かれて継続的な改善活動を実施しています。これらの5つのWG(確認WG、転倒転落WG、医療機器WG、5S(ごえす)WG、救急カートWG)の取り組み内容もポスターでご紹介しました。(写真①)



写真①

また、個人や部署からのポスターは、職員の投票によって優秀賞が選ばれ、年度末に、各部門に所属する医療安全の担当者の会議で表彰されます。毎年、個性あふれる力作が掲示されていますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

医療安全標語は、1階のエレベーターからつづく廊下に掲示し、患者さんやご家族にも良いと思った標語にシールを貼って投票していただきました。(写真②)全部で80個の標語から最も投票の多かった標語は「何か変 その違和感を要確認」で11票を獲得しました。忙しく仕事をしていても、違和感を感じたら、確認することは、医療安全においてとても大切な事だと思います。ご投票くださった皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げます。



写真②

埼玉県防災航空隊による場外離着陸場夜間離着陸訓練について

総務課

令和7年12月15日（月）、埼玉医科大学総合医療センターのヘリポートにおいて、埼玉県防災航空隊による場外離着陸場夜間離着陸訓練が実施されました。

本訓練は、「日没間際に山岳救助事案が発生、防災ヘリコプターによる患者救助後に当院ヘリポートへ着陸し、高度救命救急センターに搬送する」ことを想定し、埼玉県防災航空センターが運用する防災ヘリコプターが負傷者や転院搬送患者を引き継ぐ際、当院ヘリポートへの離着陸が安全かつ迅速に行えるよう企画されました。

当日の天候は晴天、日没時刻は16時30分という条件での実施となり、訓練に先立ち埼玉県防災航空隊、埼玉医科大学総合医療センター、並びに当院ヘリポートから高度救命救急センターまでの患者搬送を担う川越地区消防局の3者で事前打ち合わせを行った後、16時30分より川越地区消防局の職員によってヘリポート周辺の通行車両の規制が行われて訓練は始まりました。

防災ヘリコプターは16時40分に埼玉県川島町の埼玉県防災航空センターを離陸、16時45分に当院ヘリポート上空へ到着し、防災ヘリコプターからの遠隔操作によるヘリポート照明設備の点灯訓練を行い着陸しました。

着陸後、防災航空隊員はヘリポートに降り立ち、川越地区消防局の救急隊員と傷病者の引継ぎ等について確認を行いました。確認を終えると、防災航空隊員は防災ヘリコプターに乗り込んで17時00分に当院ヘリポートを離陸、再び遠隔操作にて照明を消し、埼玉県防災航空センターへと帰投して訓練終了となりました。

このように、医療機関と消防機関が緊密に連携することで、傷病者搬送はより適切に行われ、早期の医療介入によって多くの生命が救われます。今後も関係機関との連携を一層強化し、救命率の向上に努めてまいります。



病院機能評価のご報告

病院長 別宮好文

2025年5月15・16日に、当院は病院機能評価機構による審査を受け、病院機能を外部からの視点で評価いただき、認定病院の指定を受けることができました。写真には、病院機能評価機構から発行された認定証を示します。

評価を受ける準備を開始したのは、2023年10月23日に、大講堂で行われた病院機能評価キックオフミーティングからになります。ここでは、「受審をきっかけに病院をもっと良くする」という基本的な心構えと、「super general hospitalを極める」という共通テーマが確認されました。共通テーマについて少し説明します。

埼玉医科大学には大きな病院が県内に3つあります。歴史の長い順番に、毛呂山町の埼玉医科大学病院、川越市の埼玉医科大学総合医療センター、日高市の埼玉医科大学国際医療センターです。大学の中で当院、総合医療センターはsuper general hospitalという役割を与えられています。日本語にすると、超総合病院となります。総合病院の「総合」には、「全ての診療科が揃っていて、全ての疾患に対応できる」という意味があると同時に、「個々の診療科と部署を一つにまとめ合わせる」という意味もあります。当院では、super general hospitalを、「多くの診療科と部署が力を発揮するとともに、持てる力をまとめ合わせることによって、さらに理念に近づく病院」であると考え、それを極めることを共通テーマにしたこととなります。以後、5回の全体集会で進捗を評価しつつ、対応の遅れている部分や、複数の部署が関わる難しい問題に重点的に力を注ぎ、病院全体として改善を繰り返してきました。

今回、「救急医療を適切に発揮している」という項目について、特別に良い評価であるS評価を得ることができました。また、第三者の視点から、病院の強みを指摘していただき、同時に、足りないところを指摘いただきました。自ら継続的に成長できる病院が求められていること、そのために、よく言われていることですが、PDCAサ

イクル(Plan → Do → Check → Act)を回すことが重要なことに、改めて気づかされました。準備の過程で、職員一丸となって、病院の理念を再確認したことも大きなことでした。病院の理念は、「安全で質の高い医療を提供し、地域から信頼される医療機関を目指します。」です。

病院の理念の前半は客観的に評価することができます。しかし、後半の「地域から信頼される」のところは、大切な部分ですが、信頼していただけたかどうかは、利用された方のフィードバックを待つしかありません。当院では、毎年一定の時期に院内で利用者アンケート調査を行っています。また、それ以外の時期であっても、お気付きのことがありましたら、病院を改善するためにお知らせくださいますと幸いです。また、信頼を揺るぎないものにするために、プロフェッショナルの集団として、技術や知識を絶やさずに継承することも重要です。地域の皆様の病院として、病院機能評価認定を一つのステップとし、引き続き前進を続けますので、変わらないご支援をお願いいたします。最後に、一体となって頑張ってくださいました職員の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。



RT JOURNAL (オルソパントモグラフィー (OPG) について)

中央放射線部



RT JOURNAL

放射線

2026
vol.37

📌 オルソパントモグラフィー (OPG) 📌

今回は、歯科医院や病院で耳にすることがあるかもしれない「OPG（オーピージー）」という検査について、ご紹介したいと思います。

◆ 「OPG」ってどんな検査？

お口全体をぐるっと1周、広い範囲を撮影できるX線検査で、歯やあごの骨、関節などを1枚の画像で確認できるのが特徴です。歯科検診や矯正の前、親知らずのチェック、インプラントや抜歯の前の診断にもよく使われており、「パントモ」や「パノラレントゲン」と呼ばれることもあります。



OPG画像

◆ 当院で使っている装置「ベラビュー X800」について

この装置はOPG以外に、セファロ（頭部の側面X線撮影）や歯科用CTの撮影にも対応した、かなり高機能な装置です！さらに、従来型よりも少ない放射線量で、高画質な画像の撮影が可能になっています。



ベラビュー X800

編集後記

今回はOPGについてご紹介させて頂きました。また、当院のOPG装置は車椅子でも撮影OK。立つのがつらい方は遠慮なくお声かけください。

よくあるご質問

Q：どうして手術の前にOPGを撮るの？



A:事前にOPGで口腔内の解剖学的構造、特に顎関節や歯の状態を確認し、気管挿管の際に障害となる可能性のグラついた歯や被せ物（銀歯など）をチェックするためです。また、口腔内を清潔に保ち、トラブルを防ぐことが重要で、術前・術後・回復期を通じて良好な口腔環境を維持することが、感染症や合併症のリスクを軽減させることにつながります。

外来受診について

初めての方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
- * 診療時間 9:00 ～ 17:00

再来の方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
 - * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
(予約の方を除く)
- 予約以外の11時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行っておりますが11時以降の受付はできません。(再来で予約のある方を除く) また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

咳・熱などの症状のある方やお子様の面会をご遠慮ください。

面会については病棟にご確認ください。

アクセス

電車

- | | |
|-------------------------|--------|
| 池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線 30分 | 川越駅下車 |
| 西武新宿駅より西武新宿線 60分 | 本川越駅下車 |
| 大宮駅よりJR埼京線 20分 | 川越駅下車 |
| 大宮駅よりJR高崎線 9分 | 上尾駅下車 |
- ※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

- 川越駅東口より東武バス
(上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き)
(25分) 埼玉医大総合医療センター下車
JR高崎線上尾駅西口より東武バス(川越駅行き)
(20分) 埼玉医大総合医療センター下車
市内循環バス「川越シャトル」40系統42系統43系統

車

関越自動車道川越インターより8km、約15分
県道51号線(川越上尾線)沿い

* 医務課からのお願い *

当院では受診の際、月に1回保険資格確認をさせていただいております。マイナンバーカードをカードリーダーに通していただくか、資格確認書を窓口へご提示ください。院外処方箋発行の際に、正しい保険情報を転記するためにも、診察前の保険確認にご協力ください。また、緊急時に当院よりご連絡させていただく際、お届けいただいている連絡先が変更となっていることがあります。連絡先に変更があった場合には、お申し出ください。



編集後記

今回の表紙の写真は、埼玉県防災航空隊による夜間離着陸訓練の様子です。5ページにて詳細をご紹介しますのでご覧ください。暖かく春を感じる日が多くなりました。当院入口の道路沿いでは、毎年桜の花が綺麗に咲いてくれます。上記の写真は令和7年4月9日に撮影しました。今年はいつ頃開花となるのでしょうか。

埼玉医科大学総合医療センターニュース 第74号

- | | |
|-------|---------------------|
| 発行年月日 | 令和8年3月末日 |
| 発行 | 埼玉医科大学総合医療センター |
| 発行責任者 | 病院長 別宮 好文 |
| 連絡先 | 医療センターニュース編集局(医務課内) |
| 印刷 | 株式会社 ヨーコー |